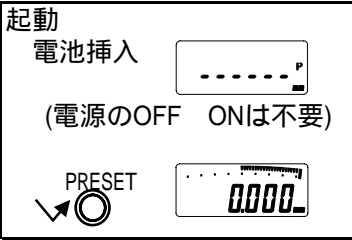


キー操作



キー名称と機能



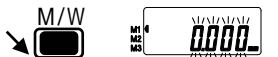
マスター合わせ

新規にマスター値を登録する場合

マスター合わせモードへの移行



メモリー選択



M1,M2,M3を選択する

マスター値のプリセット



桁の移動



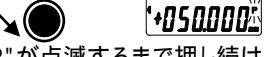
変更したい桁が点滅したら指を離します。

数値の変更



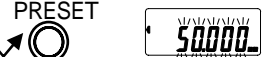
押した回数分だけ値が変わります。

PRESET



"P"が点滅するまで押し続けます。

マスター値のプリセット完了



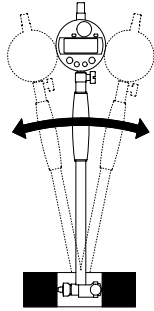
までの操作でプリセットしたマスター値が点滅します。ここまでの操作で、プリセットした値はメモリーに記憶されますが、マスター値としては登録されていません。引き続き以降の操作を行ってください。

マスターリングのセット



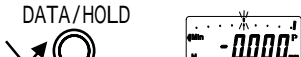
シリンダゲージをマスターリングにセットしてからキーを押してください。

マスターリングの最小値検出



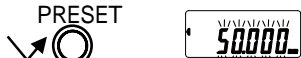
シリンダゲージを前後又は左右に振って最小値を探ってください。

表示値のホールド



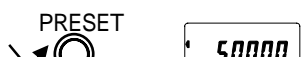
の操作を2~3回繰り返し、表示がゼロで安定することを確認してください。誤操作によって最小値がずれてしまう恐れがある場合は、[DATA/HOLD]キーを短く押して表示をホールドしてください。("H"が点灯します)

マスター値の呼出し



マスターリングからシリンダゲージを抜き、キーを押してください。までの操作でプリセットしたマスター値が呼び出され点滅します。

マスター値の登録



キーを押すと点滅が点灯に変わり、マスター値が登録されます。

マスター値の登録完了



測定待機状態に戻ります。

マスター合わせ

予めマスター値が登録されている場合

マスター値の呼出し



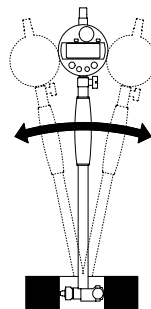
登録されているマスター値が点滅します。

マスターリングのセット



シリンダゲージをマスターリングにセットしてからキーを押してください。

マスターリングの最小値検出



シリンダゲージを前後又は左右に振って最小値を探ってください。

表示値のホールド



マスター値の呼出し



マスター値の登録



マスター値の登録完了



測定待機状態に戻ります。

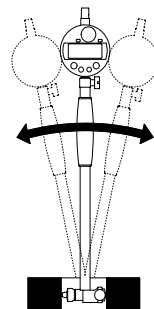
内径測定

最小値測定の開始



シリンダゲージをマスターリングにセットしてからキーを押してください。

ワークの最小値の検出



シリンダゲージを前後又は左右に振って最小値を探ってください。

最小値の表示



最小値が検出されるとデジタル表示はその値をホールドします。

注意

前日測定した同一ワークを測定する場合でも、測定を開始する際には「マスター合わせ」の動作を再度行い、ゼロ点の確認を必ず行ってください。

ここで表示した数値はあくまでも参考です。実際に表示される値とは異なります。